

# GOVERNOR'S

MONTHLY LETTER 国際ロータリー第2830地区  
2024-25年度 ガバナー月信

6  
No.12



5月24日、弘前市りんご公園で開催されたインターアクト年次大会に参加した五所川原高校の生徒、顧問の先生と高瀬、丸海老会員

## Contents

- ・巻頭言
- ・今月のガバナーメッセージ
- ・ロータリー特別月間
- ・地区委員長紹介
- ・各クラブの動き

- ・2024-25年度 地区クラブ活性化ワークショップ開催報告
- ・2025-26年度 地区研修・協議会(DTA)開催報告
- ・2025年規定審議会の概要と制定案のポイント
- ・会員動向

国際ロータリー第2830地区事務所  
〒030-0812 青森市堤町1丁目1-23 ホテル青森内  
TEL.0173-732-2830/FAX.017-732-2831  
E-MAIL rid2830@outlook.jp

## 巻頭言



暑い日があると思えば肌寒く感じることもあり、不安定な天候が続いている今日このごろですが、ロータリアンの皆様はいかがお過ごしでしょうか。

このガバナー月信も2024年7月から丸一年、12回目の発刊を迎えることができました。6月の行事とまとめの総集号を作成することを予定しておりますが、レギュラー号としては最終の月信となりました。

まずはこの1年、地区の皆様には大変お世話になりました。5月10日の地区研修・協議会で米谷ガバナーエレクトにガバナーバッジを引き継ぎ、少し肩の荷が降りた気がしております。6月30日までのガバナー任期も、残すところ1か月となりました。



5月はゴールデンウィークから始まりました。ロータリーの行事も、ゴールデンウィークには入っていませんでしたので、家族や友人とのリラックスした時間を過ごすことができました。ここから6月末までは、ノンストップで毎週土日、ロータリー行事が続きます。

5月10日は米谷ガバナー年度の地区研修・協議会が行われました。ガバナー挨拶はもちろんのこと、パネルディスカッションや分科会、地区

資金規定の改正の審議など、自分の年度以上に役割が多かったな、という感想です。四宮孝郎RI理事ノミニの基調講演「ロータリーは楽しくなくっちゃ」にはじまり、同期の2510地区出村知佳子ガバナーもパネリストとして青森に来て下さいました。懇親会では青森RC、むつRCの合唱団の歌で大いに盛り上がりました。翌日、出村ガバナーをワ・ラッセにご案内した後、駐車場に向かう途中で、思いがけず、青森RCがあおもり駅前ビーチに青森ヒバのベンチを寄贈するという贈呈式に出くわしました。私たちが指を指しているのは、ロータリーの公式ロゴの焼き印です。素晴らしい活動に立ち会えたことは大変ラッキーでした。

5月16日、八戸南さくらエイトロータリー





衛星クラブの創立1周年記念例会にお招きいただき、「この1年を振り返って」と題して卓話をさせていただきました。例会終了後は高畑議長のお点前によるお茶会、夜は八戸南慶徳会長も参加され、懇親会でも多くの皆さんと交流することができました。2年目ものびのびと活動し、ロータリーを楽しんでいたきたいと思います。

翌日は米山奨学生の卓話講習会と米山学友会の総会に参加しました。多くのクラブから米山奨学生を卓話に呼んでいただければと思います。また、米山学友会の活動についても、今回の総会は3名の参加に留まりましたが、これから少しずつ活動を活性化していければと思います。

5月24日は弘前RCが提唱クラブ、弘前学院聖愛中学高等学校インターアクトクラブがホストクラブを務めて、弘前市のりんご公園でインターアクト年次大会が行われました。106名のインターアクター、56名のロータリアンが参加して、バーベキュー大会の昼食会、宮下宗一郎知事と高校生との座談会と、大変充実した大会でした。

5月24日、25日の2日間に渡って、青森はまなす会館でRLIが開かれました。ここ数年、参加者の減少傾向に歯止めがかからない状態が続いており、どうしたら多くのロータリアンにロータリーを学ぶ機会を提供できるのか、RLI委員会を中心に検討しています。懇親会では、テーブルごとにグループセッション

ンでこの問題も話し合われました。IMの活用、クラブ等への出前講座(出張RLI)やweb会議の活用等、工夫する余地は色々あるかと思います。個人的には、入会3年未満の新入会員にロータリーを体系的に学び、他クラブの新入会員と交流する機会を与えるという役割に特化してもいいのではないかと考えているところ

です。セッションの結果は、ファシリテーターや参加者によって毎回全く異なるものとなりますので、一度受講したから終わりということではなく、受講する度に新たな発見があると思います。実際にファシリテーターを務めてみると、参加するよりもファシリテーターを担当する方が、何倍も勉強になることは実感できると思います。クラブでロータリーをよく勉強されているベテラン会員の方には、ぜひクラブからファシリテーターとしてそのような会員をご推薦いただき、新入会員を連れて参加してもらおう、というサイクル



を作ってみてはいかがでしょうか。

最後に、先日、3月28日に発災したミャンマーの大地震への支援をお願いする文書を各クラブ宛に発信させていただきました。軍事政権下での支援金の送金方法について調整に時間を要したため、この時期になりましたが、RI3350地区が窓口になってミャンマーの被災地にお届けいただけることになりましたので、是非ご支援をお願いしたいと存じます。

## 今月のガバナーメッセージ

### この1年を振り返って

ガバナー 花田 勝彦

ロータリアンの皆様にとって、この1年はどのような1年だったでしょうか。

地区ガバナーとしての活動は、実質的には、国際協議会に参加した2024年1月からスタートします。地区スローガン「個性輝くロータリー」を決めて、重点事項を定めます。地区の三大研修(DTTS、PETS、DTA)は、次年度の準備のための研修ですので、いずれもガバナーエレクトが招集者となって実施されます。地区幹事会の準備もこの時期がピークを迎えます。



ガバナーエレクトの研修(GETS)では、国際協議会がジェットコースターの最上部、ここを過ぎると猛スピードで走り抜けるのがガバナー年度だという趣旨のことを言われておりましたが、全くそのとおりだったと思います。

7月にガバナー年度がはじまり、県知事、マスコミ各社への表敬訪問から、40クラブの公式訪問がスタートすると、地区大会までに全クラブの訪問を終えるのが精一杯でした。会長幹事会のためにそのクラブの定款細則が



きちんと備えられているか、クラブの問題点はどこにあるか等、事前の準備をして、訪問後にはクラブの評価をしなければなりません。それゆえ地区内の全クラブの個性を十分に理解することができたと思います。本来であれば、年度内に再訪して、課題の進捗状況を確認し、次年度につなげるまでできればいいのですが、そこはガバナー補佐にお願いするところです。



10月は最大の行事、地区大会です。RI会長



### ガバナー年度最大のイベント 地区大会！



### 地区大会 大懇親会

代理として甲府の高野孫左エ門氏を迎え、曹洞宗清野暢邦氏の基調講演を行いました。シンポジウムでは、黒田正宏、関場慶博PGにご登壇いただき、私たち2830地区が目指すべきロータリーについて、貴重なお話を聞くことができました。会長代理歓迎晩餐会、大懇親会も盛り上がり、大いに親睦を深めることができましたと思います。参加、準備に携わって下さった皆様に改めて感謝申し上げます。

この後、他地区の地区大会に可能な限り参加して、同期ガバナーの晴れ舞台を応援しに行きました。所変われば地区大会も変わる、皆さんそれぞれのスタイルで楽しませていただきました。

11月にはパキスタン・カラチにポリオワクチン投与活動を行うため、大学生2名を含む

### パキスタン カラチへ ポリオワクチン 投与活動！



地区内12名で参加してまいりました。奉仕活動としては最も印象に残る活動でした。同期ガバナーが集まる会でパワーポイントにより報告させていただいたほか、県知事へ報告の訪問や、ごしょがわらFMに出演してお話もいたしました。ほかにも、ポリオ根絶活動としては、地区大会のウォークラリーと津軽鉄道ポリオジャック、年明けには映画「じょっぱり 看護の人 花田ミキ」の上映会を行い、ポリオの募金活動も併せて実施することができました。



アクトの翼で高校生たちと一緒に台湾・羅東へ行った際には、行く前と帰ってきた後の驚くべき成長を目の当たりにすることができました。インターアクトの年次大会やRYLA、青少年交換事業に参加して、ロータリーの青少年事業の素晴らしさを体験から実感することもできました。

地区内全クラブのロータリアンとの触れ合いから、同期ガバナーとの友情、他地区の地区大会への参加によってその地区の皆さんと

### アクトの翼 高校生とともに 台湾 羅東へ



も交流し、海外へ行けばその国のロータリアンやロータリーファミリーと親睦を深める。ロータリーのフェロシップ、つまり単なる仲良しではなく、ロータリーの理念の下に結びついた世代を超えた友情が、どんどん広がっていくのを実感することができました。ガバナーとしてのこの1年は、人生の中で最も密度の濃い1年であったように思えます。自分自身が成長し、そのためには何より楽しむことの大切さを学びました。支えてくれた五所川原ロータリークラブと地区幹事会のメンバーには、感謝してもし尽くせない思いです。

### 支えてくれた地区幹事会



地区の活動を支えてくれたガバナー補佐、地区委員長、地区委員の皆さん、クラブの会長幹事の皆さん、本当にありがとうございました。そして、地区事務所の浅利さん、最高のセクレタリーでした。もちろん、ガバナーパートナーとしての妻への感謝も忘れてはならないでしょう。共通の友人が増えて、日常の話題には事欠かなくなったというのも、ガバナーを担当したことの副産物ですね。ロータリー活動で事務所を空けている間、事務所を守ってくれた佐々木弁護士と事務局スタッフのメンバーにも感謝です。

2830地区は喫緊の課題である1100名問題を抱えてはいますが、ロータリー活動の根本は、



水野RI理事の仰るように、参加し、交流し、行動して、ロータリーを楽しむことにあります。国際協議会でロータリーが大好きになった私にとって、これからもロータリーを楽しむことで、人生を豊かにしていくための大きな節目となった1年でした。

改めて今年度のRIテーマである「ロータリーのマジック」を考えてみると、私自身としては、このような得がたい体験をすることができたことが、まさに「ロータリーのマジック」だったと思います。その上で、地区スローガンである「個性輝くロータリー」については、輝く個性を持ったロータリアンの皆様と2830地区の各クラブが、この1年、クラブの会長とともに、様々なロータリー活動に積極的に取り組まれたことに心から敬意を表します。私自身は、とにかくこの1年、ロータリーの活動を最優先して、出られるものにはすべて参加しようと決めて実行してきました。私なりの個性輝くロータリー活動はこれからも続きます。

最後に、地区内ロータリアンの皆様に改めて感謝申し上げます。今後とも一緒にロータリーを楽しみましょう！またどこかでお目にかかります。



個性輝くロータリー



## ロータリー特別月間

### 「親睦活動月間」 ロータリー親睦活動グループ バイク日本支部のご紹介



五所川原ロータリークラブ  
今 広樹



シックバイクを展示しておける展示館を開設しております。

入会は、Facebookを通じてメッセージを送って頂けると入会できます。入会金や年会費はありません。Facebook上では、500人の方にフォローされておりました。

2年前の夏に、富樫会長から「青森にツーリングいくのですが、良いコースを教えてください。」とのメッセージが届き、数パターンご提案させていただきました。

1年を過ぎた去年の夏に、また青森に来られること、その際に一緒にツーリングしませんか？とお誘い頂き、快諾させていただきました。来られたのは、富樫会長と松田パストガバナー、滝川RCの入井浩樹さん(後述の第1回ジャパン大会実行委員長)の3名。初日は弘前に宿を取っているとのことで、せっかくなら親交しませんか？とお話ししたところ、是非にと言うことで、花田ガバナーと一緒に弘前RCの渋谷さんのお店「あいや」で

ロータリーに「親睦活動グループ」が存在するのは皆様ご承知のとおりと思います。『同じ関心や趣味、職業をもつ世界中の仲間と楽しく交流できる方法、それが「ロータリー親睦活動グループ」です。世界中に会員がいるロータリーならではの国際交流のチャンスです。』と、ロータリーのウェブサイトに乗っております。グループは多種多様あり、ゴルフや釣りは元より、顎ひげと口ひげというグループまであります。今回は私が参加させていただいている「バイク」のグループをご紹介します。

ロータリー親睦活動グループバイク日本支部 (International Fellowship Motorcycling Rotarians Japan Chapter。以下IFMRジャパン)は、2020年に富良野RC (D2500)の松田秀郎パストガバナーの声あげで2021年8月に発足され、年に数回の例会を開催。現在では200名を超える会員数となっております。日本支部会長は富樫信さん(富良野RC)で、富樫さんはクラシックバイクをレストアするのが好きで、地元富良野に所有するクラッ



花田Gを交えて親睦会(弘前市「あいや」にて)



懇親会翌日にツーリング(十和田湖)

懇親会を開きました。

次の日は、五所川原中央RCの寺田会員と奥様も交えて盛岡近辺までツーリングし、お別れしました。趣味が同じ人同士ですと、すぐに打ち解けて楽しいツーリングとなりました。

その翌週に、「第1回IFMRジャパン大会2024 in 北海道旭川」が開催され、全国から70名程のロータリアンライダー?が旭川に集

結しました。私は仕事の都合がつかず、不参加となりましたが、当地区からは2名の参加者がいらっしゃいました。次は参加してみたいなと思っていた所、入井実行委員長から電話があり「次回第2回ジャパン大会は、五所川原でやってみませんか?」と、ご提案がありました。何でも、その日の午後に会議があるそうで、直ぐ返事が欲しいとの事でした(汗)。クラブの承諾はもらっていませんでしたが、独断で「やります」とお返事させていただきました(笑)。

来たる2026年7月(予定)第2回IFMRジャパン大会in青森(仮称)が、当地区で開催されることとなります。バイクを趣味とする地区内ロータリアンの皆様、是非その日はご参加下さい(実行委員としてお手伝いして下さる方も大募集!?)。これから準備の一年になります。何卒よろしく願いいたします。ロータリーで同じ趣味の方達と集まり、親睦を深められるって最高ですよ。



松田英郎PG(D2500富良野RC)



富樫信IFMRジャパン会長  
(D2500富良野RC)



入井浩樹第1回ジャパン大会  
実行委員長(D2510滝川RC)

## 第2回 IFMR ジャパン大会 2026 in 青森 (仮称)

# 2026年7月開催予定

\* 第2回ジャパン大会実行委員会では、地区内バイク愛好家ロータリアンの参加協力を募っております。ご連絡は右記QRコードからフェイスブックのメッセージャーでご連絡ください。



\* IFMRジャパンに入会ご希望の方は、右記QRコードからフェイスブックのメッセージャーにて事務局までご連絡ください。





## 2025年規定審議会の概要と 制定案のポイント

2025年4月13日から17日まで、アメリカ合衆国シカゴにて、世界515地区から代表議員が参加して、3年に一度の規定審議会が行われました。2830地区からは、沼田廣パストガバナーが代表議員として参加されました。

86件の審議制定案のうち、撤回等を除く74件が審議され、修正案を含む28制定案が可決、37件が否決されました。

可決された制定案のうち、主なものは次のとおりです。

- ・新クラブ結成に必要な会員数を20人から15人に引き下げられました。
- ・人頭分担金が今後3年間段階的に増額されました(2025-26年度と比較して、3年後は1人年間1650円程度の増額)。
- ・地区大会の開催は任意となりました。
- ・ゾーンの境界を、会員数だけでなく、文化や言語も考慮に入れることになりました。
- ・会長エレクト研修セミナー(PETS)を会

長エレクト・ラーニングセミナー(PELS)に、地区研修・協議会(DTA)をクラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー(CLLS)に改称しました。

その他の制定案についても解説された沼田代表議員が作成されたパワーポイントは、地区のホームページに掲載してありますので、詳細はこちらをご参照下さい。



URL:<https://x.gd/rxHltW>

クラブ地区支援室作成の「クラブと地区に関連する重要な変更」はこちらをご参照下さい。

(URL:[https://msgfocus.rotary.org/files/amf\\_highroad\\_solution/project\\_656/2025\\_COL\\_Essential\\_Changes/2025\\_COL\\_Essential\\_Changes\\_Clubs\\_Districts\\_JA.pdf](https://msgfocus.rotary.org/files/amf_highroad_solution/project_656/2025_COL_Essential_Changes/2025_COL_Essential_Changes_Clubs_Districts_JA.pdf))



規定審議会会場の様子



アーチック会長とONE ROTARY CENTER会長室にて

# 2025-26年度 地区研修・協議会(DTA) 開催報告

実行委員長 伊藤 幸生  
(青森RC)



5月10日(土)リンクステーションホール青森を主会場にして、地区研修・協議会(以下DTA)が開催されました。2830地区内より多数のロータリアンの皆様にご参加頂きまして、誠にありがとうございました。今年のDTAも部門別に分かれての研修を、本会議場で皆で学ぶ場とし、半日での開催としました。

米谷ガバナーエレクトより、RI会長メッセージ『よいことのために手を取りあおう』、地区スローガン『ロータリーの不易流行』の説明があり国際協議会報告をされた後、地区運営方針が語られました。

基調講演では、国際ロータリー理事ノミニ、国際ロータリー第2660地区所属、四宮

孝郎様をお迎えして、「ロータリーは楽しくなくっちゃ」の演題でご講演頂きました。基調講演後にはパネルディスカッション『ロータリーの魅力を語り合おう』コーディネーターは次期地区ラーニングファシリテーター沼田廣パストガバナー、パネラーには四宮孝





郎様、出村知佳子様(RI第2510地区ガバナー)花田勝彦ガバナー、第二部では、地区内パストガバナーや次期地区委員長の12名の皆様に、それぞれの部門についてご講演頂きました。第三部では、部門別研修会報告、次期ガバナー補佐、地区委員長の皆様から各クラブへのお願いを公表して頂きました。最後には、花田ガバナーより米谷ガバナーエレクトへバッジの引継ぎが行われ、いよいよ“新年度のスタートを切る”といった決意が表れていた米谷ガバナーエレクトだったと思います。

懇親会は場所をホテル青森に移し、地区内それぞれのロータリアンが親睦を深めました。今回の懇親会では、入会間もない方々を同じテーブルにし、それぞれ交流して頂きました。築館智大副(直前)ガバナー乾杯後に

は、アトラクションとして青森ロータリー合唱団、むつロータリークラブ合唱団のコーラスもありました。ちなみに両合唱団は第28回全日本ロータリークラブ親睦合唱祭へ参加いたします、2年後には第30回青森大会も開催いたします。

2025-26年度DTA実行委員長という大役を任せられた際には不安しかありませんでしたが、最上幹事長エレクトをはじめ、青森モーニングクラブ理事の方々、実行委員会関係者の皆様、当日設営の為に米山奨学生のご協力もあり無事に終える事が出来ました、講演内容通りロータリー活動は楽しくなくちゃです、共に協力しながら1つのことを楽しむ事がこれからの活動にも反映すると感じました。私もロータリアン歴が長くありませんが、先輩方からお聞きしたように、チャンスは断らずにまずは挑戦してみる事が大事ですね、まあ今回の大役は代役ではありましたがいい経験をする事が出来ました。

7月1日より、米谷ガバナー年度のスタートとなります。まずは、ガバナー公式訪問において各クラブへお伺いし、より元気なクラブへと成長させるため汗をかいてくれる事でしょう。各クラブの皆様には、何卒よろしくお願い申し上げます。



# 2024-25年度 地区クラブ活性化ワークショップ開催報告

実行委員長 野上 友明  
(五所川原RC)



4月26日(土)、地区としては初めての試みとなる「地区クラブ活性化ワークショップ」が開催されました。今回は、会員増強、3 - Year Rolling Goals、2025年規定審議会の3つのテーマで開催されました。

当初は、三大研修ほどの規模ではないだろうと安易に考えておりましたが、準備段階となる実行委員会を経て具体的なプログラムの内容を目にしたとき、その中身の濃さに自分の考えが甘かったということに気が付きました。

セッション中はスタッフとしても動いていた為、その全ての内容を把握することはできませんでしたが、講師の皆様を始め各クラブの方々の発表を聞いていると、そのクラブの



様々な特性が見受けられました。

第2540地区 会員拡大増強委員長の今野宏氏のロータリークラブとライオンズクラブのデータに基づいた会員数の変動については、大変興味深かったです。また、板柳ロータリー



クラブ 副会長の工藤昭義氏は、まさに「つがる」を感じさせるような笑いを交えた発表で会場を和ませておられました。

今後、合併を免れることは相当に厳しい状況下であることに間違いはないと思いますが、今回のワークショップを経て限られた時間の中で、互いにロータリーの輪を紡いでいく努力をすれば、スムーズにその時を迎えら

れるのでは？という実感を持ってました。

結びに、今回たいしたお役にも立てず、頼りない実行委員長ではありましたが、その分、実行委員会のメンバーを始め五所川原クラブの各会員の皆さんに助けられながら、なんとか花田ガバナーの集大成ともいえるこの事業を無事に終えることができました。改めて、五所川原クラブの個々の能力の高さとクラブの結束を感じる事ができました。

まだ全てが終わったわけではありませんが、花田ガバナー、とりあえずはお疲れさまでした！そして、実行委員会と五所川原クラブのメンバー、また会場のホテルサンルート五所川原のスタッフの皆様、地区事務所の浅利さん、気が回らないところを全てサポートして下さいまして、本当にありがとうございました！



## 各クラブの動き

### 八戸南ロータリークラブ創立50周年記念式典 開催報告(2025.4.19)

八戸南ロータリークラブ  
会長 慶徳 拓也



2025年4月19日は八戸南ロータリークラブにとって50回目という節目の創立記念日でした。

桜満開の土曜日が当日に当たる、少しだけ我がクラブは‘持ってるな’と思ってしまいました。

当日は、国際ロータリー第2830地区花田ガバナーを始めとする多くのロータリアンの皆様、熊谷八戸市長を始めとする多数のゲストをお迎えし、無事に記念式典を終えることが出来ました。これもひとえに日頃よりご支援、ご協力いただいております皆様のおかげと改めて感謝の気持ちでいっぱいです。

また、姉妹クラブであります韓国南浦項

ロータリークラブの方々と50周年を共に祝い、第13次姉妹クラブ締結再調印を交わせたことも大きな喜びです。





八戸市公民館長 梶谷伸夫氏による記念講演に始まり、記念式典開始時間に南浦項の皆さんが間に合わないというハプニングもありつ

つ、祝賀会も含め大変素晴らしい1日だったと思っております。

さて、50周年という節目を迎え、我がクラブも新たなフェーズに直面していると感じております。

これまで諸先輩方が築き上げてきた50年の歴史と地域社会における活動を尊重しつつ改善しなければならない時期に来ております。

今後60年・70年とクラブの歴史を紡いでいく仲間を増やし、バトンを後世に繋いでいかなければという思いを新たにいたしました。

結びに、50周年式典開催にあたりご協力いただきましたクラブメンバー並びにさくらエイト衛星クラブの皆さんに改めてお礼申し上げます。



## 6月の地区行事・奉仕活動の月信記事について

当年度6月末までに開催された各イベントの記事は、新年度（2025-26年度）のガバナー月信編集チームへお寄せください。

記事の窓口は、地区事務所となりますので、そちらまでお送りくださいますようお願い申し上げます。（連絡先：表紙右下参照）

地区委員長の  
横顔  
Vol.5



**私**のライフワークに“ローイング競技(旧名ボート競技)”があります。県内では、青森市の提川、むつ市の新田名部川でしか見られないので知らない方が多いと思われま

す。オリンピック競技としては、第1回目のアテネ大会から競技種目としてあり、地味で目立ちませんが、歴史が古い競技です。東京の隅田川で行われる早稲田大学と慶応義塾大学による対抗戦“早慶レガッタ”、本県むつ市で行われる“まさかりレガッタ”も競技の一つです。

私自身、競技者として高校・大学・社会人で漕ぎ、大会役員または審判員として現在も携わっております。どっぷりローイング競技にハマってしまったのは、日本大学のボート部員として4年間の寮生活しながら優勝を目指して練習の日々を過ごした貴

国際奉仕委員会 委員長 **柴田 文彦**  
(むつ中央RC)

重な青春時代があったからです。現在の私を見て想像できないでしょうが、10km20kmを平気で走り続け、100kgのバーベルを持ちあげていたのが事実です。しかしながら選手としては大成したわけではなく、たいした成績も収めておりません。選手として成功しなかったからこそ、選手のため、チームのためという“誰かのために”が身についたのかもしれない。

大学を卒業して故郷青森に戻ってからは、むつ市ローイング協会、青森県ローイング協会それぞれの役員として大会運営に携わりました。また、審判員として従事しております。

話は30年ほど前にさかのぼりますが、当時ローイング競技を利用して街おこしができないかと思案し、市民参加型のレースを開催しようと協賛金を募り、東奔西走し中





古のボートを買付けて、“まさかりレガッタ”を創設しました(今年で27回目)。現在も主催者であるむつ市ローイング協会スタッフとして大会運営に携わっております。

来年は、全国国民スポーツ大会(旧全国国民体育大会 通称“国体”)が本県で行われます。ローイング競技は、私の地元むつ市にて開催されます。青森県ローイング協会会長としての任を受け、今年のリハーサル大会等忙しくしております。

審判員としては取得が難しい公認A級審判員として、県大会から全国大会まで審判業務を行っております。審判業務では、安全を第一に競技者の妨げにならないよう競技を導くための緊張感と配慮が必要とされます。ボランティアであり、レース後に仲間と酒を酌み交わします。ロータリーで講義を聞く、話合いをする、奉仕活動をする、そして懇親を深める、これら一連の流れは共通ではないだろうか。この原稿を作成しながら、ふと思いました。

審判を始めて間もない頃、師匠である先輩審判員から“一社会人であれ”と教わりました。「好きな競技であるからと、大会のために仕事をそっちのけで携わることはあってはならない、まずは職業人としてき



ちんとしなさい。」と。人生の後半に知ったロータリーの『4つのテスト』、『高潔性』の大切さは、既にローイング競技の審判業務を通して自分の中で養われていたのかもしれない。

さて、競技者としてなぜ成功しなかったか、随分と大人になってから気が付きました。当時は、辛い競技に対する悲壮感だけでした。ある意味まじめだったのかもしれない。そこに大事なことが無かったのです。“楽しむ”ということが。一事が万事、ローイングであれ、仕事であれ、家庭であれ、ロータリーであれ、ただいま何事にも楽しんでいる自分です。





**2**004年8月、五所川原で葬祭業を始めたことがきっかけで、ロータリークラブにお誘いいただき、入会しました。当時34歳。例会では人生の大先輩方に囲まれ、緊張しながらも毎週のように出席を続けていました。

気がつけば、それから21年。現在は「ロータリーの友」地区代表委員として活動させていただいています。あの頃の緊張感も、今では懐かしく心地よい思い出となりました。

そんな私が2008年に出会い、衝撃を受けたのが「統計心理学」です。この学びに出会うきっかけとなったのが、**田中久雄先生**でした。田中先生は、ビジネスやアートの世界で数々の革新を生み出した人物です。ダイソンの掃除機を世界で初めて、日本で生産し、ヒロヤマガタの絵を全国に広め、さらには、システム手帳を日本に根付かせるなど、多方面で先駆的な活動をされました。

そんな田中先生との出会いを通じて、私は統計心理学の奥深さに触れ、人の思考や行動の背景を学ぶことになりました。生年月日をもとに、その人が生まれ持った“素質”を統計的に読み解き、思考や行動の傾向を多角的に捉える統計心理学。まるで「心のOS」を知るような感覚で、自分らしく

## 統計心理学とロータリー ——個性が輝くつながり

ロータリーの友地区代表委員 **木下 一志**  
(五所川原RC)

生きるヒントがそこにありました。ロジカルでありながら直感的。数字でありながら、どこか温かい。

そんな不思議な安心感が、ずっと心に染み込んだのを今でも覚えています。

今ではこの統計心理学が私の**ライフワーク**となり、講座やカウンセリング、コンサルティングを通して、その魅力を多くの方に伝える活動を続けています。

人と向き合うとき。

自分自身を見つめ直すとき。

そして、組織を考えるとき——。

いつもそこに、統計心理学の視点があります。

私には、長女と次女、二人の娘がいます。長女とは考え方や行動に共通点が多く、自然と心が通じ合う感覚がありました。一方で、感受性豊かで直感的な次女の言動には、どう接すればよいのか戸惑うことも。けれど、統計心理学を学ぶ中で、

「自分とは異なる特性を持つ相手には、伝え方も変える必要がある」という大切な気づきを得ました。

それからは、接し方にも工夫ができるようになり、今では次女から「**パパみたいなお人と結婚したい**」と言ってもらえるほどに。何気ない一言でしたが、私にとっては心に深く刻まれた、かけがえのない思い出



です。

この学びは、家庭だけでなく仕事にも大きな影響を与えてくれました。お客様との関わり方、従業員への接し方が変わり、人との距離感が自然と縮まったように感じています。特に、一人ひとりへの対応が求められるマーケティングの現場では、お客様ごとの「反応のツボ」が見えてくるようになり、提案にも以前より“手ごたえ”を感じるようになりました。もちろん、売上や成果といった数字も大切です。でも、何より嬉しいのは、「この人にちゃんと伝わった」という実感を得られることです。

私がクラブ会長を務めたときには、メンバーそれぞれの特性を活かせるよう、無理なく力を発揮できる配置を意識しました。

**“得意なことを任せ、苦手なことは支え合う”**

このシンプルな視点が、チームを柔らかく、そして強くしてくれたと感じています。

### 「個性輝くロータリー」

それぞれが自分らしさを発揮しながら、協力し合える場所こそ、ロータリーが目指す理想の形なのではないでしょうか。ロータリーは、まさに多様性の縮図です。年齢も職業も価値観も異なる人々が、ひとつの目的のもとに集まる。そこでは、ときに価値観がぶつかり合うこともあります。同時に、新しい発見や学びに出会える場でもあります。だからこそ、私はロータリーが好きなのです。統計心理学を通して得た、

### 「個性を輝かせる視点」

それをこのロータリーの場で活かしながら、より良いつながりを生み出していきたいと、心から願っています。



左から私、田中先生、長女、次女



## 会員動向

### 【入会者】



蒔苗 豊  
(むつ)  
4月1日入会



佐藤 和文  
(七戸)  
4月17日入会



宮田 勝  
(六ヶ所)  
4月10日入会



米谷 竜也  
(つがる)  
4月22日入会



阿部 裕二郎  
(弘前)  
4月14日入会



市村 朋哉  
(弘前)  
4月14日入会



斎藤 達  
(青森)  
4月10日入会



高橋 耕  
(青森)  
4月17日入会



川村 泰史  
(青森)  
4月17日入会



佐々木 俊行  
(青森)  
4月24日入会



高木 康弘  
(八戸)  
4月9日入会

【退会者】

クラブ名	氏名	退会日
むつ (むつ大畑 R 衛星)	高橋 克彦	4月21日
六ヶ所	中六角 浩光	4月10日
三沢	新堂 友和	4月20日
弘前	宇都 正樹	4月1日
弘前	服部 武朗	4月1日
弘前	吉田 暁博	4月1日
青森	南谷 毅	4月30日
八戸南 (八戸南さくらエイト R 衛星)	亀井 圭子	4月30日

【ご逝去会員】

謹んでご冥福をお祈りいたします。



櫻井 清（青森）  
4月2日ご逝去

【ロータリー財団寄付】



杉本 秀道  
（むつ中央）  
PHF



2025年4月会員数の増減及び出席率表

グループ	クラブ名	例会数	出席率 %	正会員数								My Rotary 登録率 %
				前月末 会員数	入会	退会	4月末 会員数	女性 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	
東第一グループ	むつ (うち、むつ大畑)	3	100.00	50 (9)	1 (0)	1 (1)	50 (8)	2 (1)	50 (9)	3 (1)	3 (2)	28.00
	野辺地	4	81.82	13	0	0	13	2	13	0	0	100.00
	七戸	3	72.71	13	1	0	14	2	11	3	0	15.38
	東北	3	70.80	16	0	0	16	2	16	0	0	81.25
	むつ中央	3	70.00	21	0	0	21	0	20	1	0	14.29
	六ヶ所	3	71.00	38	1	1	38	1	32	8	2	26.32
	小計				151	3	2	152	9	142	15	5
東第二グループ	三沢	4	53.55	21	0	1	20	1	23	0	3	42.86
	十和田	4	100.00	34	0	0	34	9	34	1	1	32.35
	十和田東	4	63.00	30	0	0	30	5	25	5	0	50.00
	おいらせ	1	67.00	6	0	0	6	0	6	1	1	50.00
	三沢東	3	63.50	35	0	0	35	4	34	1	0	31.43
	十和田八甲	3	68.00	85	0	0	85	1	80	7	2	40.00
	小計				211	0	1	210	20	202	15	7
西第一グループ	五所川原	5	58.54	58	0	0	58	6	52	6	0	70.69
	金木	4	76.00	12	0	0	12	1	12	0	0	8.33
	鱒ヶ沢	2	100.00	17	0	0	17	2	16	1	0	37.50
	鶴田	1	75.00	8	0	0	8	1	8	0	0	37.50
	五所川原中央	4	41.00	24	0	0	24	2	25	0	1	50.00
	つがる	4	69.20	33	1	0	34	0	30	6	2	32.35
	五所川原イヴニング	2	48.00	25	0	0	25	7	25	0	0	56.00
	小計				177	1	0	178	19	168	13	3
西第二グループ	弘前	2	100.00	49	2	3	48	4	45	9	6	46.94
	弘前東 (うち、弘前東桜華)	2	100.00	10 (4)	0 (0)	0 (0)	10 (4)	4 (2)	13 (5)	0 (0)	3 (1)	50.00
	板柳	2	83.50	12	0	0	12	2	10	2	0	33.33
	黒石	2	57.00	23	0	0	23	3	20	3	0	47.83
	大鱈	3	60.00	9	0	0	9	0	9	0	0	33.33
	弘前西	2	100.00	33	0	0	33	6	30	3	0	60.61
	平賀・尾上	2	27.70	9	0	0	9	0	9	0	0	33.33
	弘前アップル	2	93.00	15	0	0	15	2	16	0	1	73.33
	小計				160	2	3	159	21	152	17	10
中グループ	青森	4	66.50	100	4	2	102	10	105	11	14	99.03
	青森北東	2	82.50	21	0	0	21	3	22	0	1	66.67
	青森中央	2	100.00	6	0	0	6	1	6	0	0	33.33
	青森モーニング	2	77.80	21	0	0	21	4	21	3	3	61.90
	小計				148	4	2	150	18	154	14	18
南グループ	八戸	4	68.70	66	1	0	67	0	65	4	2	40.30
	八戸東	4	100.00	46	0	0	46	0	46	2	2	56.52
	三戸	3	96.00	9	0	0	9	1	9	0	0	88.89
	五戸	3	86.10	12	0	0	12	1	12	0	0	50.00
	南部	3	77.00	9	0	0	9	0	9	0	0	44.44
	八戸北	4	56.50	38	0	0	38	7	38	1	1	52.63
	八戸南 (うち、八戸南さくらエイト)	4	76.60	44 (12)	0 (0)	1 (1)	43 (11)	13 (11)	39 (11)	8 (3)	4 (3)	86.05
	八戸中央	4	47.00	18	0	0	18	4	20	0	2	44.44
	八戸西	3	53.00	34	0	0	34	20	33	2	1	44.12
	小計				276	1	1	276	46	271	17	12
合計 40RC				1,123	11	9	1,125	133	1,089	91	55	51.96

※ ( ) 内は衛星クラブの会員数です

期首会員数は2024年6月末会員数です  
7月1日の会員数は1,098名です  
4月末現在の入退会人数です

地区行事予定

2025年6月      ロータリー親睦活動月間

月 日	曜 日	内 容	会 場
1	(日)		
2	(月)	次年度地区補助金に関する運営会議	ZOOM
3	(火)		
4	(水)		
5	(木)		
6	(金)		
7	(土)	第28回日本青少年交換研究会 青森会議（～8日）	リンクステーションホール青森ほか
8	(日)		
9	(月)		
10	(火)		
11	(水)		
12	(木)		
13	(金)		
14	(土)	東第1・東第2グループ合同IM RYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）（～15日）	サン・ロイヤルとわだ 青森公立大学
15	(日)		
16	(月)		
17	(火)		
18	(水)		
19	(木)		
20	(金)		
21	(土)	ロータリー国際大会（～25日）	カナダ・カルガリー
22	(日)		
23	(月)		
24	(火)		
25	(水)		
26	(木)		
27	(金)		
28	(土)		
29	(日)		
30	(月)		



地区行事予定

2025年7月 母子の健康月間

月日	曜日	内容	会場
1	(火)	第1回ガバナー会議/ガバナー・元・次期ガバナー懇談会	東京プリンスホテル
2	(水)	ガバナー公式訪問 五所川原RC	ホテルサンルート五所川原
3	(木)		
4	(金)		
5	(土)		
6	(日)		
7	(月)		
8	(火)	ガバナー公式訪問 つがるRC ガバナー公式訪問 金木RC	つがる市商工会館 2F 奴寿し
9	(水)	ガバナー公式訪問 八戸RC	八戸グランドホテル
10	(木)		
11	(金)		
12	(土)		
13	(日)	第1回ロータリー財団セミナー	ホテル青森
14	(月)	ガバナー公式訪問 弘前RC	RAGLEY (ラグリー)
15	(火)	ガバナー公式訪問 南部RC	南部町農業漁業体験実習館「チェリウス」
16	(水)		
17	(木)	ガバナー公式訪問 鱒ヶ沢RC	水軍の宿
18	(金)		
19	(土)		
20	(日)		
21	(月)	海の日	
22	(火)		
23	(水)	ガバナー公式訪問 五所川原イヴニングRC	ホテルサンルート五所川原
24	(木)	ガバナー公式訪問 五所川原中央RC	ホテルサンルート五所川原
25	(金)		
26	(土)		
27	(日)		
28	(月)	ガバナー公式訪問 弘前アップルRC	弘前総合学習センター
29	(火)		
30	(水)		
31	(木)	ガバナー公式訪問 むつRC	むつグランドホテル

## クラブ細則は地区ホームページから

地区クラブ活性化ワークショップ(12ページ参照)で配付した資料、特に、家族会員やシニア会員、法人会員などを採用するクラブで使える推奨クラブ細則の規定をWord形式でアップしています。是非各クラブでアレンジするなどしてお使い下さい。クラブに合わせた規定のご相談は地区事務所までお願いします。

<https://www.rid2830.org/download#workshop>

## 編集後記

とうとう6月です。花田勝彦ガバナー年度最後の月信となりました。まずは私に、編集後記を自由に書かせて頂く機会を下さった花田ガバナーと今広樹地区副幹事長に、そして、沢山の方から記事をご寄稿頂きました事についても、この場をお借りして心より感謝を申し上げたいと思います。皆さま本当にありがとうございました。

さて、この一年を振り返って見ると、私にとっては本当に内容の濃い年だったと思っております。それは地区委員会に所属している事が最も大きい理由ですが、月信の編集業務に携わり皆さまからお預かりした記事を拝見させて頂いた事も大事な理由のひとつです。その中で、私は皆さまのロータリーに掛ける想いに触れる度に感化され、「月信をもっと読んで頂きたい!!」「皆さんの声を届けて、活性化に繋げたい!!」という思いが、より一層募って行きました。私は、その過程において幾つかの学びの機会を得ましたが、それを生かす事の難しさと自身の未熟さを痛感しながらも、現在は前に進むべく、気持ちを新たに次年度に繋がるモチベーションとして明確にさせる事ができました。それは非常に恵まれた経験をさせて頂いたと思っております。

私は月信についてこの経験を通して思った事は、友誌に匹敵するロータリアン一人ひとりに読んで頂きたいリソースの一つになり得るという事でした。内容は活動の開催通知、結果報告に留まらず、種々の事業における重要なオンタイムの声が掲載されておりますので、もっと例会プログラム等で月信を『効果的に読み込む事』ができていれば理想的だったと自身の置かれた立場で思う事がありました。ですから、普段あまり目を通さない方にも月信を是非読んで頂き、ガバナーや多くのロータリアンの想いを共有して、活動に繋げて頂きたいと思っております。

最後に、これからは新しい環境で少しでもマローニー氏の『徽章好き』に近づけるように頑張っていくつもりです。ロータリーは、私に「寛容の心」を教えてくれる唯一無二の環境です。そして、「朋有り 遠方より来る 亦楽しからずや——」そんな心を思い出させてくれます。その様なロータリーに関わる時間を私は大切にしていきたいです。

名残惜しいですが、今後は、皆さまと何かのご縁でお会いする事があるかと思いますが、その際は私をロータリーの一員として暖かく迎え入れて、ご指導ご鞭撻を頂けましたら幸いです。

ガバナー月信 編集後記担当 増田 卓也  
(五所川原ロータリークラブ)

次回、2024-25年度ガバナー月信最終号となります。  
お楽しみに！